

自然環境地域でのし尿処理設備ニーズ調査（案）

〈調査の目的〉

本調査は、自然環境地域に必要とされるトイレ技術の内容や技術開発の方向性を把握し、トイレ整備による環境保全効果が期待できる地域（山岳、山麓、海浜、離島）での普及可能性を探る基礎資料とするために実施する。

また、し尿処理設備データベースの構築に向けた質問等も同時に行う。

調査対象：全国の県・市・区・町・村（環境担当課）

調査方法：郵送法（リマインド1回）

調査時期：9月頃（WG 会合の進捗に合わせる）

調査項目：実証事業の周知状況／技術ニーズ／実証機関の可能性

技術の選択方法（価格、性能、実績、メンテナンス性など）

その他：メールマガジンへの登録依頼、メールマガジンの内容への期待・要望等（自由記述）

環境担当課各位

環境省自然環境整備担当参事官室

実証運営機関 NPO 法人山の ECHO

自然環境地域でのし尿処理設備ニーズ調査 ご協力をお願い

初秋の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

このたび、環境技術実証事業（山岳トイレ技術分野）では、自然環境地域に必要とされるトイレ技術の内容や技術開発の方向性を把握し、トイレ整備による環境保全効果が期待できる地域（山岳、山麓、海浜、離島等）での普及可能性を探るために、今回の調査を実施させていただくこととなりました。

つきましては、以下の各設問にご回答いただき、ご回答を実証運営機関 NPO 法人山の ECHO（担当：永原、FAX：03-3580-7176 メール：etv20@yama-echo.org）にお送りくださるようよろしくお願いいたします。

※ 書式（MS-WORD ファイル）は、<http://www.yama-echo.org/etv20/>よりダウンロードできます

※ ご回答いただきました情報は、本事業展開を検討する際の基礎資料として活用させていただきます

■実証運営機関 NPO 法人山の ECHO

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-11-7 第2文成ビル 3F

TEL：03-3580-7179 FAX：03-3580-7176（担当：永原）

■環境省自然環境局 自然環境整備担当参事官室：03-3581-3351（代表）

自然環境地域でのし尿処理設備ニーズ調査（案）

※自然環境地域でのし尿処理設備(山岳トイレ技術)とは、上下水道、電気(商用電源)、道路等のインフラの整備が不十分な地域においても適応できるトイレ技術で、基本的には処理水を放流しないため、周辺環境への影響を小さくすることができます。

Q1.貴自治体において、自然環境地域でのし尿処理設備を必要としている場所は何箇所程度ありますか？

1. 山岳地 ____箇所程度
2. 山麓地 ____箇所程度
3. 海浜 _____箇所程度
4. 離島 _____箇所程度
5. その他 _____箇所程度

Q2.Q1 でご回答いただいた地域において、し尿処理設備の設置に至っていない理由として、主なものに○を(3つまで)をつけ、その内容を記入してください。

1. 設置費用が確保できない（具体的に）
2. 技術の信頼性に不安がある（具体的に）
3. どの技術が適しているか判断できない
4. 技術に関する情報が不足している（具体的に）
5. メンテナンス費用が確保できない（具体的に）
6. メンテナンス体制が確立されていない（具体的に）
7. 処理性能が明確でない（具体的に）
8. 法的技術基準がない（具体的に）
9. 必置規制がない（具体的に）
10. その他（ご記入ください⇒）

Q3.自然環境地域でのし尿処理設備を選ぶ際に目安としたい項目はどのようなものですか？あてはまるものに○を(5 つまで)つけてください

1. 処理の仕組み
2. 公的な処理性能データ
3. 処理能力(利用可能回数)
4. 適用可能な気温範囲
5. 必要電力量
6. 必要燃料量
7. 処理後に発生する廃棄物の内容
8. 廃棄物の最終処分方法
9. 設備輸送手段
10. 施設費用(全体)
11. 設備の本体価格
12. 設備輸送コスト
13. 維持管理費用(全体)
14. 廃棄物の処理費
15. 専門的な保守管理費
16. 消耗品費
17. メンテナンスマニュアルの内容
18. 維持管理の専門性の度合い
19. 維持管理の頻度
20. その他()

Q4.環境技術実証事業はご存知ですか？

(H20 年度より、「環境技術実証モデル事業」⇒「環境技術実証事業」へ変更しました)

1. 知っていた
2. 知らなかった

Q5. 環境技術実証事業では、実証試験地(実証試験を行うことのできる場所)を探しています。貴自治体で、自然環境地域でのし尿処理設備を実証する試験地提供にご協力をいただける候補地はありますか？

1. ある
2. 詳しい話を聞いてみたい
3. ない

Q6. 本事業(山岳トイレ技術分野)の実証機関(技術の実証試験を実施する組織)として、ご協力をいただける可能性はありますか？

1. ある 2. 詳しい話を聞いてみたい 3. ない

Q7. 貴自治体において、既に設置している自然環境地域でのし尿処理設備について、お聞きます。

Q7-1.トイレのトラブルとして多いものはどのようなものですか？あてはまるものすべてに○をつけてください

1. ゴミ等の混入
2. 利用方法の間違い
3. 機器の故障・破損
4. 配管等のつまり
5. 臭気の発生
6. 所期の性能が発揮されない
7. 発電能力不足
8. 洗浄水の凍結
9. その他()

Q7-2.トイレの運用上の悩みはありますか？あてはまるものすべてに○をつけてください

1. 処理性能について
2. 臭気の問題について
3. 維持管理の作業性について
4. 維持管理費用について
5. 利用者の理解やマナーについて
6. その他

Q8.本事業や自然環境地域でのし尿処理設備、本アンケートについてご自由にお書きください。

--

環境技術実証事業（山岳トイレ技術分野）では、当分野の活動をお知らせするメールマガジンを創設しました。

本メールマガジンは、環境技術実証事業（山岳トイレ技術分野）での取組をより多くの方々に知っていただくことで普及を進めたく、山岳トイレ技術の検討状況、展示会への出展などの情報を中心に随時配信させていただきます。

つきましては、当メールマガジンを継続的にご活用いただきますとともに、関係者の皆様への周知にご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

<http://www.yama-echo.org/mag/> より、是非ともご登録ください。

Q9.当メールマガジンに期待する情報・内容等ありましたら、下記にご意見をお書きください。

--

回答者

所属	名前
電話	FAX
メール	

※ ご協力、ありがとうございました。

送付先：NPO 法人山の ECHO（担当：永原）FAX：03-3580-7176 メール：etv20@yama-echo.org